

(様式 1)

令和 7 年度 県産有機農産物等学校給食活用促進事業
事業計画書（変更計画書）

「7」を記入

令和 7 年 5 月 1 日

兵 庫 県 知 事 様

募集期間内(令和 7 年 4 月 7 日～
5 月 9 日)の提出日

団 体 名 ハッピー野菜の会
代表者名 会長 兵庫太郎
住 所 神戸市中央区下山手通 1
電話番号 078 - 123 - 456
E-mail アドレス yasai@abc.com.jp

県産有機農産物等学校給食活用促進事業実施要領(令和 6 年 3 月 29 日付け流第 1738 号)
第 8 の規定に基づき、関係書類を添えて別記のとおり提出します。

[添付書類]

- ・収支予算書（様式 2）
- ・応募者の概要が分かる資料（定款、規約、組織図、名簿、活動報告等）
- ・その他、必要と認められるもの

1 応募者の概要

※該当しない箇所は記載不要

名 称	ハッピー野菜の会		
所 在 地	〒650-0011 神戸市中央区下山手通 1		
代 表 者	会長 兵庫太郎		
設 立	昭和・平成・令和 2 年 4 月 1 日設立		
法 人 格	あり（昭和・平成・令和 年 月取得）・なし		
構成員数	15 名		
活動状況	神戸市内で有機で米や野菜を栽培する農家 15 名で構成。 消費者とのふれあいを大切に、市内や近隣市町で開催のマルシェに毎週参加。技術研さんのため、月 1 回の研修会を行っている。		
担 当 者 連 絡 先	氏 名	大阪花子	
	電話番号	090 - 1234 - 5678	FAX 078 - 123 - 456
	E-mail	Happy@abc.com.jp	

給食に限らず記載

本件に関する担当者(実務者)を記入。代表者が担当者の場合は、代表者の連絡先を記入。

2 提案事業の概要

(1) 事業内容

①学校給食等への県産有機農産物等の供給（品目ごとに記載）

- ア 品目 米(有機 JAS 認証取得)
- イ 時期および回数 10 月下旬(1 回)
- ウ 供給先の市町名または学校名
神戸市(神戸市 ABC 給食センター管轄の 18 小学校)
- エ 1 回あたりの数量(kg) 800kg

複数品目の場合は品目ごとに記載

- ア 品目 こまつな(有機 JAS 認証取得)
- イ 時期および回数 12 月上旬(1 回)、1 月上旬(1 回)
- ウ 供給先の市町名または学校名
神戸市(神戸市 ABC 給食センター管轄の 18 小学校)
- エ 1 回あたりの数量(kg) 300kg

②学習機会の提供（内容、時期、場所、対象、回数、参加人数等を具体的に記載）

- ア 実施予定時期 9 月 5 日
- イ 実施予定場所
神戸市立南北小学校

月日が調整中の場合は「9 月上旬」等でも可

ウ 対象および参加人数
神戸市立南北小学校 4 年生 80 名
エ 手法
講義
オ 回数
1 回

ア 実施予定時期 9 月 30 日
イ 実施予定場所
神戸市内水稲ほ場
ウ 対象および参加人数
神戸市立南北小学校 2 年生 74 名
エ 手法
収穫体験
オ 回数
1 回

③ 取り組む学習内容

※下記のうちいずれか 1 テーマ以上を選択し、実施内容を記載すること

- ア 有機農業や有機農産物の特徴及び食材提供をする農家の紹介について
- ・ 9 月 5 日の講義では、会員のほ場の写真を示しながら、それぞれ自己紹介を兼ねて就農の経緯を導入部で話す予定です。
ハッピー野菜の会会長の兵庫太郎は、以前は東京の企業に勤めており、農業とは無縁の生活をしていましたが、たまたま友人に誘われて有機野菜の収穫体験に行き、農業に興味を持つようになりました。今は、小松菜などの葉物野菜やにんじんなどの根菜類を作っています。他の会員は、トマトなどの果菜類、米を作っている人もいますので、それぞれ自己紹介を行います。
- イ 脱炭素や生物多様性などの環境保全と有機農業について
- ・ 9 月 5 日の講義では、農業と地球温暖化問題を中心に取り上げます。
地球温暖化の影響で米の品質が落ちたり、トマトの花が落ちて実が付かないなど悪影響が出ていることを会員の農産物や栽培ほ場の写真を用いながら説明します。一方で農業を行うことでも温室効果ガスが発生し、地球温暖化を促してしまうという事実について説明し、それを抑制する取組について説明します。例えば、ハッピー野菜の会会員は地元産の原料で作られた堆肥や肥料使っているのもので、海外から肥料を輸入するより原料の輸送時に排出される二酸化炭素が少なくなっており、それが地球温暖化抑制につながっています。
 - ・ 9 月 30 日実施予定の水稲収穫体験では、昔ながらの手刈りを行い、まずは稲のにおいや感触などを五感で感じ取ってもらいます。さらに田んぼやその周辺に生息する生き物について説明するとともに、生き物探しを実施し、多様な生物がそこで暮らしていること、そういう環境を守ることが生物多様性を維持することにつながることへの理解を促します。

ウ ほ場や加工施設等での体験

- ・9月30日に会員の圃場において、水稻収穫体験を行います。そこでの内容は、上記(イ)のとおりです。

エ その他

該当がない場合は空欄で可

始期：本事業に係る事柄を始める予定日(ただし、実際には採択が決まり、請書提出日以降分が委託料支払いの対象となります。)

終期：本事業に係る事柄がすべて終了する予定日(まだ確定していない場合は、想定される最も遅い月日を記入。ただし令和8年1月30日までの日付であること。)

(2) 実施期間 令和7年6月1日～令和8年1月30日

(3) 実施体制

(実施にあたり協力する団体や連携する学校等との関係、役割分担が分かるように記載)

ア 連携する市町名または学校名 神戸市

イ 役割分担

	名称	役割分担
応募者	ハッピー野菜の会	米およびキャベツの生産 学校への配送 食育講義の実施
市町教育委員会	神戸市教育委員会	南北小学校との調整
学校	神戸市立南北小学校	食育講義の会場提供 児童への食育講義の事前指導
給食センター	神戸市 ABC 給食センター	給食調理

必要に応じて追加。

(4) 事業実施により期待される効果

ABC 給食センターにおける有機農産物の使用について課題を抽出できる。例えば、納品体制、大きさが給食センターの機械や調理に適合しているか、虫など異物混入の有無が想定される。もし課題があれば、その解決策について話合うことで来年度以降も納品できるよう目指していく。

児童に対しては、有機農産物や有機農業に関する講義や稲刈りと生き物調査を体験することで、地域農業への理解が深まるとともに地球環境を考えるきっかけになると期待している。

(5) これまでの同種の活動実績やこれからの実施予定など、参考になるものがあれば記載してください。

今年度からじゃがいもの有機栽培を予定しており、神戸市学校給食への納入について、ABC 給食センターに相談中。

(6) その他参考となる特記事項があれば記載してください。

令和7年度 県産有機農産物等学校給食活用促進事業

収 支 予 算 書

「7」を記入

応募者名 ハッピー野菜の会

委託料上限が55万円であり、
55万円未満でも応募可千円未満は自己負担金かその
他に記載

1 収入の部

科 目	金 額 (円)	内 訳
委託料	495,000	
自己負担金	160	
その他	680,000	学校給食への販売収入
計	1,175,160	

※ 科目は、委託料、自己負担金、その他（参加料収入、学校給食への販売収入等）に分けて記載すること

※ 委託料は、55万円以内、千円未満切り捨て

2 支出の部

科 目	金 額 (円)	うち対象経費	内 訳
1 学校給食等への県産有機農産物等の供給に要する経費			
需用費	440,000	440,000	食材費差額 米 250 円/kg×800kg こまつな 400 円/kg ×300kg×2回
需用費	680,000	0	学校給食への販売収入分 米 500 円/kg×800kg こまつな 350 円/kg ×300kg×2回
小計 (a)	1,120,000	440,000	
2 学習機会の提供に要する経費			
報償費	48,400	48,400	9/5 講義分 @1,100 円×2時間 ×4名(2名/クラス ×2クラス) 9/30 収穫体験分 @1,100 円×3時間 ×12名

旅費	1,600	1,600	9/5 講義分 @400 円/人×4 名
需用費	5,160	5,160	9/5 講義分 @10 円×6 枚×86 部(児童 80 部、学校 職員 2 部、講師用 4 部)
小計 (b)	55,160	55,160	
合計 (a+b)	1,175,160	495,160	

※ 収支の計は一致すること

※ 内訳には、経費の内容と金額を記入すること